

大豊町の概要

位置 東経133度37分 北緯33度56分
面積 320.54平方杆 東西 32杆
南北 28杆 部落数 86
人口 10,461 男 5,004 女 5,457
世帯数 3,525(3月末日現在住民基本台帳調)



昭和54年5月10日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会

発行 大豊町中央公民館

印刷 高知印刷株式会社



基盤整備 (徳島県境へのびる林道浦の谷、平線)

54年度 当初予算決まる

総額22億5千万円

大杉中学校

屋内運動場建築費など

町長の行政施策の方針

大豊町三月定例会は同月十二日開会、門田町長から三度当選の挨拶と町政執行の方針が述べられ、総額二十二億五千三百万二千円にのぼる昭和五十四年度の一般会計、国保、簡水、代替の特別会計をはじめ「大豊町民健康づくり推進委員会設置」、任期満了に伴う大豊町助役選任同意議案など四十一議案を審議して同二十四日討論採決、四ヶ年の議員任期中における最終議案を閉会した。

門田町長の五十四年度予算に対する説明の要旨は次の通り。

一、予算編成の背景(省略)
二、財政対策と、基本方針
昭和五十四年度の予算編成に当たっては、極めて厳しい地方財政事情の中にあつて、複雑多岐化する行政需要にどのように対応し、解決していくかが、われわれに課せられた至上命題となつておる。

又、一般行政経費、経常経費については、節減合理化に努め、極力規模の抑制を図るとともに住民の生活に連関する整備等投資的経費については、効率性、緊急性等に配慮しつつ積極的に取り組んでいきたいと考えておる。

総合予算主義の原則に則り、一部の補助事業を除き可能な限り当初予算に計上し、早期執行を期する処置を講じた。而しながら昭和五十四年度の一般会計の総額は二十二億五千三百万二千円にのぼる。

一般会計

道路網の整備充実

「豊かな緑の中のゆとりある人間環境の創造」
広大な急傾斜地に集落が点在する本町にとって「豊かな緑の中のゆとりある人間環境の創造」をめざし、町民の創意と活力を引き出して行く町づくりを進めて行かなければならない。

防災対策

全町民の生命、財産を災害から守り住民の安全快適な生活を保障するための環境づくりは重要課題であります。特に最近における災害の特徴として山くずれ、けがれ事例が多いので、土石流発生危険予想地域および急傾斜地の崩壊に十分留意しなければならぬと考えられております。本町は、全国屈指の地すべり地域であ

り、町内の治山、治水、地を推進しようとしております。すべり対策につきましては、本町といたしましては林野庁、建設省の直轄事業、及び県単事業として莫大な経費を投入して実施しているところでございますが、今後におきましても関係機関に強力な要請を行い、事業量の拡大を図ってまいりたいと考えております。なお、昨年新たに吉野川上流地域が直轄事業区域として指定されましたので、この地域の砂防事業も順次実施されるものと期待しております。

農林業振興対策

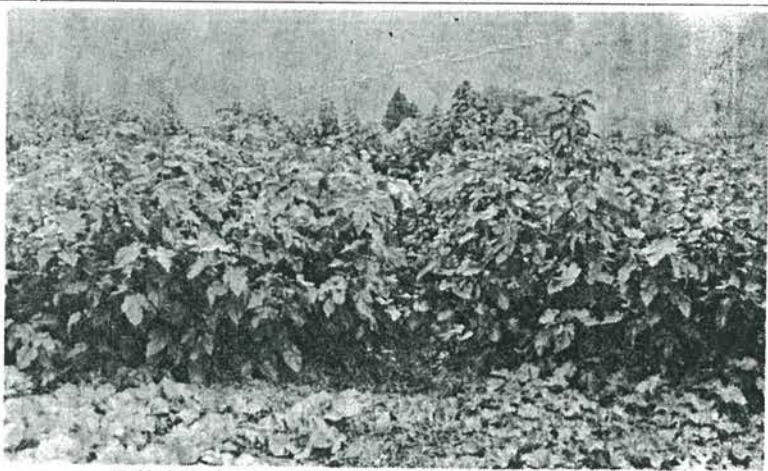
昭和五十四年度農林水産省の重点施策は米の過剰による農産物需給関係の不均衡、木材価格の低迷等による林業生産活動の停滞、二〇〇〇カール時代の到来による水産業の不振など内外をめぐる厳しい諸情勢に対処し、農林水産の健全な発展を図るため、将来にわたる国民食糧の安定供給の確保を基本として、地域の自主性を尊重しながら長期的視点に立つて総合的な施策を考へ、上振機具に対する補助金一五〇万円を措置してあります。林業構造改善事業では森林組合の育成強化を図る見地から森林組合が協業促進事業に対する作業道整備事業のためダンプトラック及びコンプレッサの購入に対する補助金として六十九万二千円を措置しております。

社会福祉対策

社会福祉につきましては、昭和五十四年度においても従来からの基本姿勢を堅持し、福祉のまちづくりを目指して活動の普及、啓発をはかって行きたいと考えております。即ち、老人福祉、身体障害者福祉及びねたきり老人の家庭福祉事業の委託料の増額、私立季節保育所に対する各補助金の増額を行うと同時に諸問題についても徹底を期したいと考えております。

保健衛生対策

近年国民の健康水準は、平均寿命の伸長にみられるように著しく改善されてまいりましたが、社会環境等の変化、人口の老齢化に伴

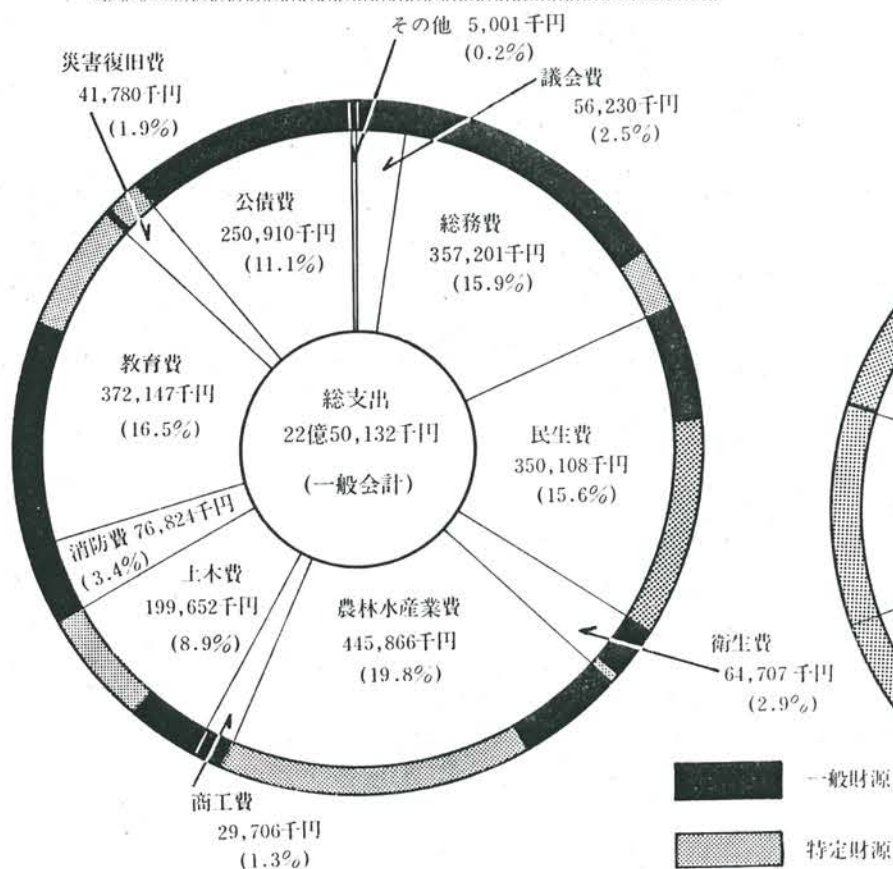


基幹産業を支える桑園 (53年度優秀反収の上地さんの桑園)

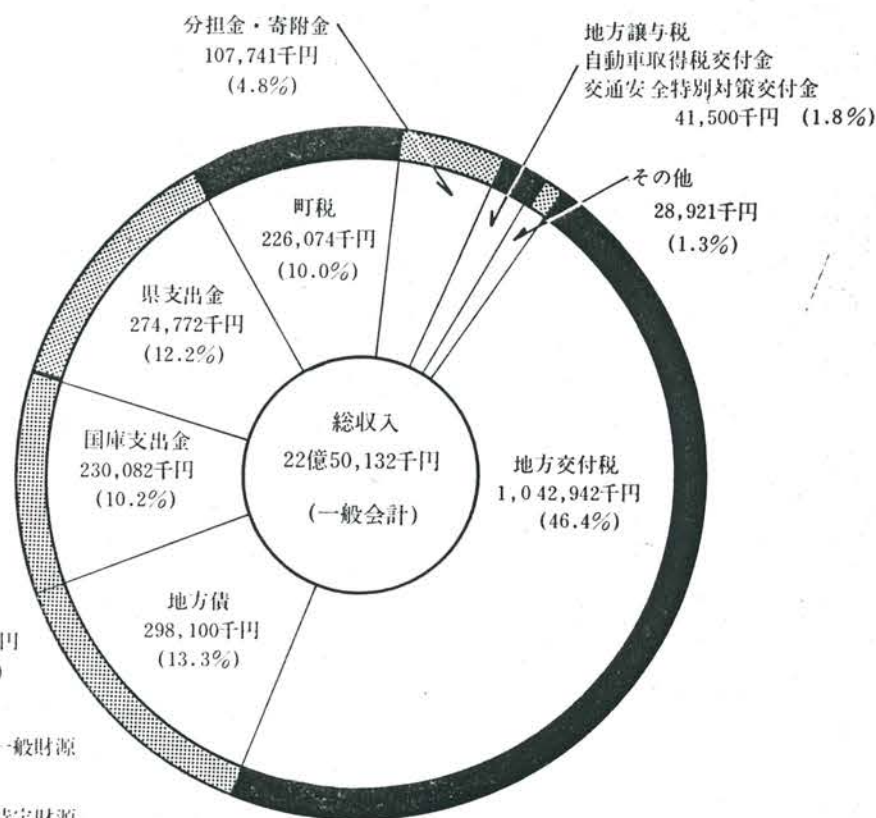


着々進む災害復旧工事 (大砂子西向谷川防災工事現場)

歳出の目的別内訳



歳入の内訳



重点施策の概要

項 目		予 算 額	構成率 [％]
1. 安全快適な環境づくり		112,527	5.1
1.	防災対策	93,336	4.2
2.	生活環境等対策	14,848	0.7
3.	交通安全対策	4,343	0.2
2. 明るい社会づくり		401,109	17.7
1.	老人対策	176,182	7.8
2.	心身障害者対策	5,051	0.2
3.	母子、児童対策	113,119	5.0
4.	保健、医療対策	51,967	2.3
5.	福祉関係対策	54,790	2.4
3. たくましい人づくり		401,876	17.9
1.	学校教育対策	334,871	14.9
2.	社会教育、文化対策	24,831	1.1
3.	体育振興対策	38,291	1.7
4.	青少年婦人対策	3,883	0.2
4. 豊かな町づくり		662,811	29.4
1.	道路対策	525,209	23.3
2.	農林業振興対策	107,896	4.8
3.	商工業、観光対策	29,706	1.3
5. その他の行政経費		630,029	28.0
○災害復旧対策		41,780	1.9
計		2,250,132	100.0



国立循環器病センターによる成人検診風景（八畝で）

たしました大杉中央病院も建築に着手されております、完成後は住民の健康を守るうえで大きく期待されるものと確信をいたしております。

法の精神に基づき、本町の地理的、経済的乃至は社会的環境の特殊性に立脚して大杉町民としての理想と使命達成及び人類社会の幸福のため生活の第一線で働く

教育振興対策

法に基づき、本町の地理的、経済的乃至は社会的環境の特殊性に立脚して大豊町民としての理想と使命達成及び人類社会の幸福のため生活の第一線で働くことのできるたくましい身体と明確な知識、技能を持った人情味豊かな大豊町民

育の育成を基本として義務教育の強化充実は勿論でございますが、特に教育の中立・公益性を堅持し、学力の向上とともに徳性の昂揚に努めると同時に社会教育につきましても積極的な姿勢で取り組んで行かなければならないと考えておられます。又、昨年早送りしました幼児教育につきましても保育行政との関係等全町の視野に立つて検討を加えて参りたいと存じます。最近の青少年の非行問題についても低年令に移行している実態をふまえ、更に補導育成に努めてまいります。次に教育施設等の整備事業についてご説明申しあげます。

小学校関係では東豊小学校プール建設事業費三百三十三万円、大杉中学校屋根及び講堂床板の改修費八〇万円、大田口小学校屋根改修工事費二五〇万円、家庭崩壊所工事費三〇万円、等々を計上しております。又、中学校費につきましては、昨年度完成いたしました大杉中学校等に対する整備材料備品費三三万四千六百円は、はじめ、大杉中学校屋内プール

動物場建設工事費八千三百三十五万一千円、産業教育設備費五八〇万円等を措置しております。

社会教育費では西峰公民館改修工事費一〇万四千円、西土居公民館建築工事費二五〇万円及び北川一区、三津子野、杉等で二十四万九千円を措置しております。学校給食共同調理場につきましてでは米飯給食施設改良工事費一五〇万円、及び便所倉庫等の工事費一五〇万円、その他備品の逐次改善を行うため四十一万五円等を措置し、給食に万全を期する所存でございます。

民具の一万点収集については各地域の協力を得て所期の目的を達成いたしましたので、約三五〇〇点を種類別に分類し、国の民俗資料としての指定を受けたいと考える、これに要する経費として二百二十三万六千円及び立川御殿外町内無形文化財育成費補助として二五万四千元を措置しております。

は、商工会が中心となって経営の改善合理化を推進し、多大の成果を収めておりますが、昭和五十四年度におきまして、同会の健全な発展と活発な活動を促進し、以って商工業振興の一助としたいと考え、一四〇万円を補助することにしてあります。

工業団地につきましては、昨年十二月農林公社より大豊町土地開発公社が取得し、地積更正を終了して現在分筆、合筆の登記作業を実施しておりますが、企業の誘致につきましては、県及び工業導入特別委員会等の絶大な協力のもとに運動は続けておりますが、未だに誘致が実現せず、誠に遺憾に堪えません。今後とも緊密な連携をもとに努力をしまいたいと考えています。なお、昭和五十四年度には四国自動車道用地として団地の一部約四六〇〇平方メートルの用地提供の要請があるものと考え、また、団地附近住民の立ち退き移転につきましても積極的に協力してまいりたい所存でございます。

経済不況が長期化し、金
業は操業短縮、規模縮小等
で設備投資を見合せている
現状の中で、工業導入は極
めて困難が予想されます
が、全力を傾注する決意で
ございますので町民の皆さ
んの絶大なるご協力の程を
よろしくお願い申しあげま
す。

**消防及び交通安
全対策**

消防団につきましては、
昨年度全団員に作業服を支
給し、意欲の向上を図って
まいったのでありますが、
昭和五十四年度は更にホー
ス等の機器整備を行い消防
力の充実を図って参りま
す。

交通安全対策といたしま
しては、交通安全思想の普
及徹底に努め交通違反と交
通事故を撲滅する運動を続
けてまいりますのでございま
す。

地籍調査

地籍調査につきましては
は、前年度に引き続き立川
地区で実施することにした
りまして二千五百二十三万

んの絶大なる協力の程を
よろしくお願い申しあげま
す。

消防及び交通安全対策

消防団につきましては、昨年度全団員に作業服を支給し、意欲の向上を図ってまいりましたのでありますが、昭和五十四年度は更にホース等の機器整備を行い消防力の充実を図って参ります。

けてまいる考えでございます。

地籍調査

地籍調査につきましては、前年度に引き続き立川地区で実施することにしたしまして二千五百二十三万

国民健康保険特別会計

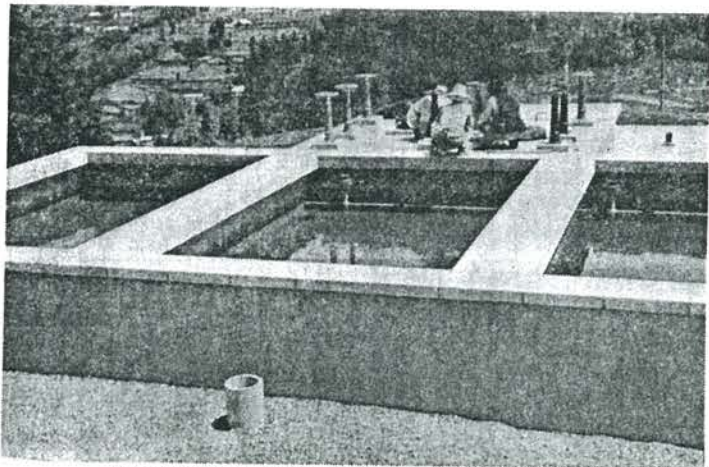
国民健康保険特別会計の予算総額は、五億五千三百六十八万一千円で前年度に比較して三五・六%の伸びとなっております。国保会計は被保険者

％を占め、かつてない異常ともいえる高騰、又看

課料支給対象者の増加、高額療養費の自己負担限度額の措置等により自然増に併せて大巾な増嵩が推定される。又、半面収入面にあつては有所得者の大半を占める農業所得者の他保加入等税収面での自然増はほとんどなく本年度は平均二五％の税



大杉中屋内運動場建築鍬入れ式



整備のすすむ豊永簡易水道 (新設された八畝池過池)

率改正を行い、基金より一千万円、一般会計より七〇万円の繰入れ措置を講ずることとしております。

簡易水道事業特別会計
簡易水道事業特別会計の予算額は二千八百五十六万六千円で前年度に比較して一六・五割増額となっております。これは前年度に比較して、ろ過池の砂の入れ替えや配管工事請負費が多くなっているものであります。こうした経費増額に対する措置として水道料金の引上げを行うと同時に一般会計から四六〇万円を繰入れを行い施設の近代化を図って行く所存であります。

代替輸送事業特別会計
代替輸送事業特別会計の予算額は八百九十四万一千円で前年度に比較して二五・五割増額となっております。これは代替バス車輻購入費の減によるものであります。昭和五十四年度の運行委託料は五百五十三万四千円、一五・五割の増となっております。

岐路に立つ本町の産業振興への私見

役場行政課 鎌倉 宏 (第2回)

主幹産業基盤浮揚
農業面においては、引続き徹底した耕地基盤の整備、経営農地拡大を図らなければならない。これは本町農業発展の土台である。国の制度的な補助金、制度資金が今日まで成り投入されてきたが、今一つ堅固な体制のききが見えない。現実には、ゆれ動く国内農政と一体化するもの、小廻りのきく本町規模の農業は、それなりに生きて行く途はあると信ずる。お互いがあきらめの取組み(消極的思考)ではなく、真剣に考えて行く(積極的思考)の必要がある。農業振興地域整備計画における農用地指定の意義を十分に理解し、今こそこの農用地毎の振興について再考し、先祖伝来の美田を後世に残す責務を果すばかりでなく、大豊町民として、土と共に生きる決意とそれに対応する経済基盤の確立を図らなければならない。養蚕の経営改善、肥育牛の点在飼育についても全町的な取組みの中で再検討をすべきである。水稲栽培においても農家の漫然とした対応が現在の窮状をもたらしたと言っても過言ではない。本町における農業は自らの自給能力を棄て去り、農家が町外からの野菜を買い求めていくが如き、全くおろかな事実が見受けられる。限りは大豊町農業の振興には有り得ない。真に土を愛する農民精神を自給作に定着せしめ、更にグローバルの視界に立つて経済力を強化することに努めてこそ今日における国や県の農政批判を行うに足る資格が得られるのである。第二次生活圏での自給体制を確立しながら順次第一次生活圏へ進出する、更に都市圏へ進出する戦略体制の確立を図らなければならない。このためにも、是非共豊農産地帯の強力な育成と、農協組織と一体化した営農指導が不可欠の要素となってくる。

また、農家経営にあって不可欠な問題が林業であり自然林の循環活用におけるしいたけ生産の増大が、本町のさしあたる林業振興の基本となるべきである。農家個々が、栽培技術の向上と併せて原木確保と云う初歩的な必要が叫ばれているが、主産地の主導権を握り得ない本町の根本原因を猛省すべきである。恒久的な植林増進、広大な公有林野の合理的活用、地元住民の所有山林面積の拡大、



今年中に着工予定の川口南インターチェンジ完成予想図

備、流通体制の確立、拡充に努める事が、本町経済発展として本町経済振興に位置する可能性を秘めている事実も併せて研究して行かなければならない。

閉鎖的経済からの合理的脱皮への努力
経済圏拡大に対する積極的対応をして行く上において、本町合併後、基盤整備事業としての道路網の整備は、これに改訂されるべきである。本町の閉鎖的で孤立的な経済社会から脱皮するためには、経済基盤を大きく浮

ロバスを使用して毎日町外へ通勤が可能なようになった現実が、基礎産業である林業に及ぼす影響は無視出来ない。国道、県道の整備と相まって、本町がこれまで閉鎖的な運送を脱して来た地域だけに、この地域に経済活動が町外から一方的な収奪を受けることとなり、一段と荒廃が進行されることとなっている。

この荒廃が本町の衰えという危険性を持っている限りは、本町の経済力を可能な限り浮揚せしめなければならぬ。周辺町村はもとより、

あり、このような方向で考へて行く住民が多くなるとが経済発展を目指す上で不可欠の要素である。

観光開発と経済基盤の充実
本町が経済的に遅れた地域であるが、一旦高速道路のインターチェンジが建設され、これが実現すれば、観光開発に強く傾斜されたと観光開発が行われることが予想される。なかにか観光開発が進めば、経済の遅れを一挙に解決するような安易なムードが起るものであろう。

町民・役場・農林団体の三者一体化
長い間、孤立して遅れた閉鎖的経済下において、外町においては、厳しい態度で立ち向かう深い関心が必要

春の全国交通安全運動

5月11日(金)～5月20日(日)

弱者の事故防止に重点

5月11日(金)から20日(日)までの10日間、全国いっせいに春の全国交通安全運動が繰り広げられます。今年の重点目標は、次の三つです。

- ① 歩行者および自転車利用者、とくに子供と老人の事故防止。
- ② 自動二輪車および原動機付き自転車の事故防止。
- ③ 安全運転の確保とシートベルト着用の推進。

交通安全を祈念して
啓発用自動車寄贈

春の全国交通安全運動に先立ち、去る一月十六日杉部落の小笠原春行さんより大豊町交通安全町民会議に対して、交通安全運動に役立ててほしいと写真のような自動車(写真)が寄贈されました。

町民会議では早速春の全国交通安全運動に役立てています。(写真は小笠原春行さんから寄贈された交通安全啓発用自動車)



混乱に終結した今日までの地域住民の立場から全ての大豊町の姿であるが、この計画が樹立され、それが着実に実行に移され始めて本町の経済振興が期待される。地域内の経済を可能な限り浮揚せしめて、外部経済と堂々と立ち向うだけの力を養成しなければならぬ。現代人のエゴによって滅亡の危機に瀕している。しかし、これは極めて深刻なことであり、これまでもこの事が叫ばれて来たが、これを果すことが出来なかつたのである。むしろ反対に、衰退化の方向にある。これを放置すれば、急速に落ち込み、再起不能の状態となることは火を見るより明らかである。この流れを変え、方向を変える途は唯一つ、町民が、そして町役場が、さらに各農林団体の三者一体化である。この繁栄する我が郷土を後世に残して行く責務があるものと確信するものである。

(完)

私の夏休み

七月二十五日、さあ、今日から夏休みだ、中学生になって、初めての、それも三十八日もの長い休みだ。きつと有意義に過ごさなければ、楽しく、思い出深いものにしよう、スケジュールには念を入れた。そして、一に勉強、二に遊び、三にお手伝いという基本方針は、絶対貫くのだと心に決めた。

八月十日、私はいつもの間にかすっかり解放的な気分になった。明けても暮れても遊びに夢中になり、勉強とお手伝いはたまに思い出して、ほんの言い訳にやっていた。とにかく朝早くから夜遅くまで、頭の中はいつもテレビと水泳に占領されて、まひしているようであった。

「勉強？ なんだっけな、あ、そんな物ピンとこないよ。」

「宿題、山ほど、フフフッ気にならない、気にならない。」

スケジュールよどこへ行った。私の手元に返って、早く取り返さねば、また休みの終わりに、バタバタとあわてふためかなくちゃいけないよ。そんなことは、もう小学時代で卒業したくっては。友達に計画どおり勉強に励んでいるだろうな？

だんだんとうすれて行くかすかなささやきが、心の奥の奥からわずかに聞こえてくる。

八月十四日、ボンボンベツトに寝ころがり、テレビにかじりついていたら、突然、ドガンと大きなかみなりが落ちた。とうとう母の怒り声が私の上にあまったのだ。

八月十九日、枕元の目覚まし時計が、リンリンとはげしく鳴り響く。ああもう、さういって、思わす手を伸ばしてスイッチを切る。だが待てよ、今日から田の草刈りが始まるのだ。一、二、三、家を挙げての作業なので、私たちが姉妹の手伝いをするのは、休みの日でも手伝わなければならないのだ。そこで昨夜は五時半にセットしたのだった。ぐずぐずしてはいられないぞと、それでもしお風呂からはい出る。六時、母の運転する車に乗り込む。おおよそ二十五分

反省した。サロネエブロン。その上にうでめきと手ぶくろをつける。なんだから、さらに気がひきまされる。ようし、やっけしく鳴り響く。ああもう、さういって、思わす手を伸ばしてスイッチを切る。だが待てよ、今日から田の草刈りが始まるのだ。一、二、三、家を挙げての作業なので、私たちが姉妹の手伝いをするのは、休みの日でも手伝わなければならないのだ。そこで昨夜は五時半にセットしたのだった。ぐずぐずしてはいられないぞと、それでもしお風呂からはい出る。六時、母の運転する車に乗り込む。おおよそ二十五分

第24回こども小砂丘賞 最優秀作品

栄ある受賞 穴内中学校 佐々木山利子さん



小砂丘賞とは

郷土の生んだ生活綴方教育の先駆者「小砂丘忠義（大豊町津家出身）」先生を顕彰し、県内小・中学校の児童より募集した作品の中から優秀な作品に対して贈られる賞です。全国的にも高く評価されています。

(写真は佐々木山利子さん)

で一区の上の田に到着。車から降りたとなん、冷たい風が私の帽子をスーッと奪っていった。なんて、いい気持ちだろうと、おもいきり両腕を伸ばして深呼吸をする。ふり仰いだ眼に、さわやかな青く澄んだ空が映った。

昨夜、母から今日の手伝いを頼まれた時、口では、はいと、気持ちよく答えながらも、ああ、あつ、暑い、とつぶやいた心は今、は鏡の回転を始めた。その回転が進むと、みるみるうちに草がなぎ倒されて行く。母の扱い方は慎重で、と、さすがに身にこたえて眼をやる。麦わら帽子に、

太陽はもう私たちの真上で照りつけていた。ミーン、ミーンと押しつけるようなせみのなき声が、汗をよそせ。今朝のすがすがしさは今はもうない。いきさつ。もうがまがでできない。

「おばあちゃん。」と叫んだ。「もう暑いけん、やす」と祖母。私は、ホッとした。流れる汗が口を潤すにふれて、しよっぱい味がした。働くことの苦しい味がする。

母はずっと先を、カジャン、カジャンと機械を左右に振りながら、なおも草を倒して進む。私はすこしはなれた上の岸にあがって母を呼んだ。エンジンの音で母は聞えない。汗、汗、水をぶっかけて、汗をぬぐうと、あふれる汗に機械を見つめている母の顔。胸にジーンときた。私は声をかけるのを忘れて、じっとそんな母の姿に見とれていた。ふと、振り返った母は私をみつめて、ニコリと微笑んだ。そして言った。

「暑い、早よう木のかげにはいりや。」その顔は、太陽の光を浴びて輝き、流れる汗は、真珠よりも美しく光った。美しい、私の母は美しいと、私は、野良着姿で真珠の玉に輝く、働く母の姿は、外出時のおめかしよりも、ずっと、ずっと美しい。夕方になるにしたがって、私は集めるのが上手になり、また集めた田のあぜは、草を刈られた田のあぜは、ちょうどはらした先のよう、短くなった草がきさきとそろうてならんでいる。

「お母さん、刈った後はきれいなねえ。」「そうね、山利ちゃんも頑張ったねえ、苦労した後

俳句と短歌

- 春風や母にやさしく言葉かけ
神の田に露草(わらわ)古(ふる)りて初夜(えびす)
風花(かざはな)に裾裾湯気の椿立ちに
移(ひらき)を門に挿(さ)し亡母恋ひにけり
少年の眼の一途なる風の空
田を捨て、椿を捨て、出稼きに
椿葉す朝の暗さの露(かき)明り
漬物の石の落ち込み日脚伸ぶ
晩学(むつき)の夜の寒灯下
睦月(むつき)果つ憂きこと記事に残しつゝ
かきと言ふおとめしめり落葉(みち)
梅園の香りの中に母と立つ
接木する小道具のあり様(はしこ)あり
歳の市(く)れて売りつゝ仕舞ひつゝ
まろむ昔に冬日集めて大根(だいこん)切り
閑校となる校庭に重植(う)う
- 小笠原 喜水
丁野 志乃
小川 みや
小笠原 秋子
丸山 磯江
大 利 晴子
西 岡 鶴美
石 原 延

本村 畑山百合子

次男追悼短歌百首の中より
血液をつくる機能の不完全
病の吾子の顔の白さよ
道をゆく人B型にみえゆる
血液の病吾子はおかされる
吾子看病(みと)り今日も暮れたり岡山の
病院窓よりながむネオン変らず
薫風に病衣はためく屋上に
我一人立ち深呼吸す
やはらげと祈る気持の蒸したオル
吾子の患部に夜通しあてる
屋上で病衣はしつこの光
浴びて故郷田舎のさかり
限られた命を吾子の病室で
涙見せずと看とる苦しさ
雨止みて窓より見ゆる岡山城
近くに見ゆるかわりなき半年
故郷の土を踏ますは何時の日か
退院も夢となる霜月
赤飯と鯛を買い来て病院で
子の成人を祝う今日なり
高価なる新薬投与はしけれ
白血病の吾子失いけるに
此の世に最後の吾子の叫びなる
両親祖父を呼びて息絶つ



ママ、おふくろ

五月十三日は母の日、アメリカ、ヴァージニアに住んでいたアンナという少女が、亡き母を偲んで白いカーネーションを墓前にささげ、人々にも分けたのが、そもその始まりとか。

四月一日付で中西館長さんが老人ホーム大豊園長となられ転任されました。長い間社会教育ひとすじに打ちこまれた、その御功績は、皆さんに御承知のとおりです。長年の御苦勞に心から感謝と御礼を申し上げます。

残り灯などとおっしゃらずに生涯教育の結びを大きく開花されて、お年寄りの方々に生きがいと夢と希望をあたえて下さい。そして健康にも気をつけて下さい。さて中西大先輩の後を受けて私如き者が館長の大役を命ぜられました。

紙面の都合でその中のいくつかを掲載させていただきます。皆さんからいただいた原稿が紙面の都合で掲載が遅れています。御詫言います。館報編集のむづかしさを、みなさん御苦勞を痛感しました。皆さんに親しみ読んでいただける館報をと、私に頭下します。御指導を心から御願ひして御挨拶いたします。(石川靖朗)